

平成29年第1回竹原市総合教育会議 議事録

午後3時00分開会

1 日 時 平成29年10月26日(木)

午後3時20分閉会

2 場 所 竹原市役所 3階 第2委員会室

3 出席構成員 吉田市長, 竹下教育長, 梅田教育長職務代理者, 河埜内教育委員,
浅野教育委員, 市川教育委員, 中秋教育委員

4 説明員 桶本企画振興部長, 久重福祉部長, 中川教育次長, 松崎企画政策課長,
岡元教育振興課長, 九十九学校教育課長, 堀信文化生涯学習課長

5 協議事項

(1) 竹原市教育大綱重点的施策の主な取組内容について

(2) その他

○松崎課長 それでは定刻になりましたので、ただいまから、平成29年度第1回竹原市総合教育会議を開催いたします。初めに、開催に当たりまして吉田市長から御挨拶申し上げます。

○吉田市長 本日は、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃から皆様には教育行政はもちろんのこと、本市行政全般にわたりまして御理解と御協力をいただいておりますことに対し、改めてお礼を申し上げる次第でございます。平成27年度に総合教育会議を設置して以来、今回で4回目の会議開催となります。この間、教育長をはじめ、教育委員の皆様と教育について、非常に有意義な意見交換ができてお感じしております。本年度も引き続き、本会議を通じて教育委員会と十分な協議や調整を行いながら、教育に関する方向性を共有することで、より一層の連携強化を図ってまいりたいと考えております。本日は、竹原市教育大綱に沿った主な取組内容を、事務局から説明させていただき、皆様と幅広い意見交換を行っていきたいと思っております。本会が教育行政の更なる充実・発展に寄与することを期待いたしまして、開会に当たりましての挨拶とさせ

ていただきます。よろしくお願いいたします。

○松崎課長 続きまして竹下教育長から御挨拶がございます。

○竹下教育長 本日、市長におかれましては、公私とも御多用の中、総合教育会議を開催いただき誠にありがとうございます。また、日頃から教育行政の推進に深く御理解をいただきまして、委員一同厚くお礼申し上げます。さて、平成29年2月より、新たに市川委員さんを教育委員としてお迎えいたしました。竹原市教育委員会の教育ビジョン「夢をもち、子どもが輝く教育の実現」という目標に向けて、更なる充実した取り組みに努めているところでございます。特に、小中一貫教育の推進といたしまして、市内で初めてとなる「義務教育学校 竹原市立吉名学園」が平成30年4月に開校されることに伴い、地域、保護者、学校及び行政が一体となって、準備を進めているところでございます。今後におきましても、市長はもとより、市長部局との連携を密にして、引き続き、委員一同、一致協力して取り組んで参りますので、格別の御支援をよろしくお願いいたします。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○松崎課長 ありがとうございます。ここで資料の確認をさせていただきます。お手元に配布をしております。まず、平成29年度第1回竹原市総合教育会議次第です。続きまして、竹原市教育大綱重点的施策の主な取組状況、平成29年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果：小学校と書いた資料がございますでしょうか。続きまして、竹原市教育大綱を配布させていただいております。不足等ございませんでしょうか。それでは、ここからの会の進行は、この会議での議長である市長にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉田市長 それでは、昨年同様、私が進行をさせていただきます。円滑な運営に御協力をお願い申し上げる次第です。早速ではございますが、協議事項に移ります。配布しております次第にありますとおり、本日の協議事項は「(1) 竹原市教育大綱重点的施策の主な取組内容について」、「(2) その他」の

2つとなっております。まず、「(1) 竹原市教育大綱重点的施策の主な取組内容について」協議に入りたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。

○九十九課長

竹原市教育大綱重点的施策の主な取組状況について、まずは学校教育課から学校教育の充実について、その中でも重点的施策「確かな学力の向上」につきまして、御説明をさせていただきます。大きく4点、「広島版『学びの変革』アクションプラン」の推進、特別支援教育の推進、ICT教育の推進、読書活動の推進の4項目について、取組状況を御説明させていただきます。まず「広島版『学びの変革』アクションプラン」の推進でございます。県の教育委員会から、学びの変革パイロット校実践指定校として指定されております3校を中心に、課題の発見・解決学習の課程を位置づけた各教科、領域の単元に取り組むとともに、指定校以外の学校におきましても、平成30年度の「学びの変革全県展開」に向けた取組を進めているところでございます。また、全ての学校において、学力調査の結果の分析に基づきまして、課題を明確にし、解決に向けた事業改善に取り組んでいるところでございます。続いて、特別支援教育の推進についてでございます。各学校に特別支援コーディネーターと称する者を位置づけておりますが、このコーディネーターを対象として、年2回特別な支援を必要としている児童・生徒の実態把握に基づく個々への支援や、適切な指導法、教育課程の編成等について研修を行っております。また、特別支援学級における指導、通常学級における子への支援、竹原西小学校に今年度から設置しております通級指導教室における指導等について、学校訪問において指導、助言を行っております。続いて、3点目、ICT教育の推進でございます。市内教職員を対象に、授業における電子黒板、タブレット型端末等のICT機器の効果的な活用について研修を実施するとともに、初任者や市外からの転入者等を対象に、機器等の基本的操作などを学ぶ初級者研修を行っております。また、学校訪問等においては、タブレット型端末の積

極的、効果的な活用に向けて指導・助言を行ってきました。人的支援といたしましては、県費の加配であるICT支援担当者を各校に巡回という形で配置し、授業支援等を行っております。最後に、読書活動の推進でございます。平成28年7月から、読書活動推進員2名を全校に、これも巡回という形で配置しております。学校図書館の整備や、学習内容に関連する図書を紹介、あるいは授業支援等を行って、読書活動、図書館教育の充実を図っているところでございます。以上です。

○岡元課長

教育振興課からは重点的施策のうち、充実した教育環境づくりについて御説明いたします。教育委員会では将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保、充実に努めているところでございます。小中一貫教育につきましては、大きな事業の一つとして推し進めているところでございます。これまで、平成27年度に忠海中学校におきまして施設一体型小中一貫校を開校したところであり、現在は吉名中学校区におきましても施設一体型小中一貫校の準備を進めているところでございます。先ほど教育長の御挨拶の中にもございましたが、9月定例市議会で承認をいただきました新たな学校種別である「義務教育学校 吉名学園」として、開校に向けて施設整備、教育内容についても進めているところでございます。その中で施設整備工事の内容についてでございますが、小中施設一体型の校舎になることから、既存の施設であります吉名中学校校舎を増築及び改修工事、また屋内運動場及びプールの改修、並びに小学生が使う遊具の新設及び部活動で使用するバックネット等の移設工事を行っているところでございます。現在の工事の進捗率は約70パーセントであり、外観についてはほぼ終えておりまして、現在は内装や設備工事を進めているところでございます。平成30年1月末の完成を予定しておりまして、順調に工事は進んでいるところでございます。今後も平成30年4月の開校に向けまして、引き続き工事の円滑な進捗を図って参りたいと考えております。以上です。

○久重部長

2枚目になりますが、②豊かな家庭づくりと青少年の育成に関して御説

明をいたします。青少年教育に関する事務につきましては、教育委員会の権限に属する事務となっておりますけれども、補助執行によりまして市長部局福祉部社会福祉課において事業の推進を図っているところでございます。青少年の育成に関わる重点的施策につきましては、家庭や地域の温かさを感じながら成長できるよう、家庭、地域、学校等が一体となって家庭の教育力の向上、要保護児童への対応強化などの青少年健全育成の推進と、青少年活動に関わる団体の育成、青少年活動の場の確保・充実などの青少年がいきいきと活躍できる環境づくりの2点を掲げております。その主な取り組み状況につきましては、資料に記載しております。まず、1つ目の要保護児童への対応強化への取組といたしましては、児童虐待の相談件数や対応件数が増加し、内容も深刻化する中、要保護児童への適切な対応など、きめ細かな取組を推進するため、要保護児童対策地域協議会を設置し、家庭児童相談室をはじめ関係機関と連携し、早期発見・早期対応・再発防止の体制の強化に取り組んでおります。2つ目ですが、青少年活動に係る団体の育成を図る取組として、まず青少年指導員研修会の開催でありますけれども、指導員18名について防犯に関する研修会などを開催しております。また、学校・警察などと連携を図りながら巡回指導を実施しております。次の青少年育成竹原市民会議理事の研修会参加でありますけれども、国・県の青少年育成会議などが開催する研修会等に参加をし、地域内の巡回活動や各種事業の開催に取り組んでいるものであります。次の「子ども会育成連合会研修会及び子ども創作大会の開催」でありますけれども、子ども会育成連合会については、市内65団体で構成し、子ども会組織の自立と子ども会活動の円滑な運営の推進を図るため、各種事業に取り組んでおります。子ども創作大会は、大会の企画、運営について広島大学の学生さん方に参加・協力していただいております。手作りおもちゃ等の制作活動を通じて会員相互の交流と親睦を深めることを目的に開催しているところでございます。以上です。

○堀信課長

文化生涯学習課からは③生涯学習の推進④スポーツ・レクリエーションの振興⑤歴史文化の保存・継承・活用の3点でございますけれども、⑤歴史文化の保存・継承・活用について取組状況を説明させていただきます。歴史・文化を守り、伝え育む人づくりというところの取組状況でございます。このことにつきましては町並み保存地区が昭和57年に選定をされておりますが、35周年を迎えるため、町並み保存センターにおいて、特別展「たけはらの町人文化と町並み」を開催しているところでございます。保存センターの2階展示室におきまして、町並み保存地区の歴史・魅力・竹原最古の住宅旧吉井家等につきまして、古文書やパネルなどで紹介をしております。会期につきましては、8月5日から平成30年3月25日まで、現在も開催しております。それから2点目の「町並みの保存・活用・魅力づくり」でございますけれども、これは2点ございます。1点目につきましては、修理・修景事業の実施でございます。町並み保存地区における建造物等の修理・修景事業系計画的に進めているところでございます。平成29年度におきましては、民間所有の建造物について3件実施しています。次に、シロアリ対策事業の実施ということで、町並み保存地区で建造物等にシロアリ被害があったことから、シロアリの駆除・防除を今年度につきましてはこれまでに4件実施してございまして、引き続き駆除・防除を進めていくところでございます。そのシロアリ対策事業につきましては、平成27年度から今年度までの3ヵ年で重点的に取り組むということでございます。以上でございます。

○吉田市長

御意見御質問等がありましたらお願いいたします。

○梅田教育長
職務代理者

社会福祉の関係ですけれども、児童虐待の相談件数や対応件数が増加し、内容も深刻化という文章がありますが、これは全国的にも今もマスコミ等で耳に入ることがありますが、竹原市でもこういった例が増えつつある、深刻化しつつあるという実態はあるのですか。

○久重部長

虐待の通告件数ということで集計はしておりますけれども、平成27年

度は51件、平成28年度は44件と少し減ってはいますが、今年度10月16日現在で30件ということで若干増える傾向にあるのかなという状況です。内容についても、深刻化している事例もみられておりますので、先ほど説明しました協議会において、全体会議ですとか個別の会議等を開催して、個別の対応をしておりますが、複雑化しているというような状況にあると思います。

○梅田教育長
職務代理者 警察署と一緒に対応しているという事例もあるのですか。

○久重部長 要保護児童対策地域協議会には当然警察も入っていただいて、法務局、保健所、子ども家庭センター、人権擁護委員協議会、医師会ですとか民生委員、子ども子育て会議、社会福祉協議会、学校関係などの関係団体に入っていただいて、対応について協議しているような状況ですので、今後も充実させていきたいと思っております。

○吉田市長 他にございませんでしょうか。次に「(2) その他について」の協議に入らせていただきます。教育委員の皆様と顔を合わせるせっかくの機会でもありますので、意見交換でもと思いますが、皆さん何か御意見等がございますでしょうか。先ほどの児童虐待などについては、貧困の連鎖など根が深いものがあり、竹原市もいろいろな窓口の中での対応を整理した上で、もう一步深く入れるような対応をとらなければいけないと強く思います。

○梅田教育長
職務代理者 マスコミの報道がいいのか悪いのか分かりませんが、家庭、両親の子どもに対するしつけ、育て方に対して熱意がないように見受けられます。

○吉田市長 次に、事務局から何か報告がございますか。

○事務局 ございません。

○松崎課長 以上で協議(2)を終わりたいと思います。それでは、協議事項は全て終了いたしましたので、平成29年度第1回の総合教育会議を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

平成29年10月26日 午後3時20分閉会